

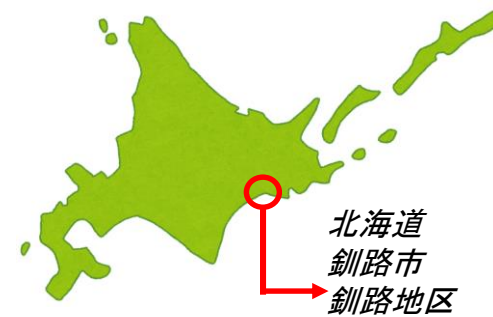
取組の概要

取組の概要 : 高性能機械の導入によるだいこんの産地化
 計画作成主体 : 釧路市農業農村経営生産推進会議
 対象品目 : 露地野菜(だいこん)
 (産地面積: 10.2ha)
 主な取組主体 : 農業者(阿寒野菜組合組合員)
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 (10aあたり)
 助成金の活用 : 生産支援事業(機械リース)
 状況 : (収穫機等栽培管理機 4台)

ポイント

高性能機械の導入により、効率的な収穫・出荷体制の確立やほ場の排水改良による作柄改善が図られ、出荷量の増加や品質が向上し、販売額の10%以上の増加を実現

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積 : 9.6ha、出荷量 : 322,610kg
 労働力不足に伴う適期収穫を逃したほ場廃棄量の増加、排水不良土壌による収量や品質が不安定

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 10.2ha、出荷量 : 338,927kg
 効率的な収穫出荷作業体制の確立やほ場の排水改良に伴う作柄改善により、安定した生産・出荷体制を確立



推進体制

地域の関係者(釧路市、阿寒農業協同組合、農業改良普及センター等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

冷涼な気候を生かし、関係機関による講習会開催や栽培マニュアル策定により低農薬・減化成肥料栽培を推進

〈市単独事業〉

- 酪農主体の地域のため堆肥の有効活用を推進
- 都市近郊の地域特性を生かした直売所での直接販売機会を提供

事業効果

- 高性能機械の導入により、効率的な作業体系によるほ場廃棄量の減少や出荷量の増加、ほ場の排水改良による品質向上により、販売単価が向上し、販売額が増加することで「北限やさい」(だいこん)としての産地化を推進
- 事業効果の地域関係者間での情報共有により、新規作付や作付面積が拡大

～だいこんの販売額の増加～

